



# どんぐり通信

## 長

河野 裕『いなくなれ、群青』（新潮社刊） 913.6/JJ/YA

捨てられた人たちの島、「階段島」。この島を出るにはなくしたものを見つけなければならない。誰よりも真っすぐで、正しく、凛々しい少女・真辺由宇と再会した七草は、彼女に巻き込まれるかたちで「階段島」にまつわる謎を解き明かそうとするのだが…。青春ミステリ、「階段島」シリーズの第1作です。【全6巻完結】

## 編

イッキ読み？

じっくり読む？

## 小



## 説

ミシェル・パイヴァー『クロニクル千古の闇 1 オオカミ族の少年』（評論社刊） 4°//YA

さくまゆみこ 訳 / 酒井駒子 絵

紀元前 4000 年の太古の森。悪霊にとりつかれた巨大なクマに襲われ、失った父との誓いを守るため、旅に出たトラク。弟分の子オオカミ・ウルフとともに＜天地万物の精霊＞が宿る山を目指す冒険の物語です。【全9巻完結】



上橋 菜穂子『香君 上』（文藝春秋刊） 913/41/YA

遙か昔、神郷からもたらされたという奇跡の稲、「オアレ稲」により帝国は発展したが、あるとき虫害が発生してしまう。植物や昆虫の声を「香り」で聞くことができる少女・アイシャが、オアレ稲の謎に立ち向かうが…。科学や政治の要素も楽しめるファンタジー小説です。【上下巻完結】

※この紙面で紹介しているすべての書籍は、流山市内の図書館で借りることができます。